ボーリング柱状図

調　査　名　災害関連緊急砂防事業に伴う測量・設計業務委託（梅ノ木）

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	Ｎｏ．４	調査位置	広島県呉市焼山東四丁目			北　緯	34° 17’ 33.85433″
発注機関	広島県　西部建設事務所呉支社			調査期間	平成 31年 3月 18日 ～ 31年 3月 25日	東　経	132° 34’ 22.61788″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	252.86m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 10°	使用機種	試錐機	ＹＳ０－２（ＹＢＭ）	ハンマー落下用具	半自動落下
総掘進長	10.00m								エンジン	ＴＦ－９０Ｖ（ヤンマー）	ポンプ	ＳＰ－５０（ＹＢＭ）

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
	252.06	0.80	0.80		礫混り粘土質砂	暗褐			表層10cm腐植土。 以深，花崗岩起源の崩積土砂。細粒分，礫分が不均質に混ざる。														
1										3/22 0.90	1.15	4	6	6	16／30	16							
2					強風化花崗岩	茶褐	中位～密		花崗岩の強風化帯。 岩構造を明瞭に残すも，芯部まで風化が進み土砂化が著しい。 指圧で容易に圧砕され，砂質土状を呈する。 5m以深，未風化礫が残る。 DL級，砂質土に区分。		1.45 2.15	4	5	5	14／30	14							
3											2.45 3.15	4	5	5	14／30	14							3/20
4										3/23 3.05	3.45 4.15	5	7	8	20／30	20							
5	247.86	4.20	5.00								4.45 5.15	10	11	12	33／30	33							
6					強風化花崗岩	茶褐	極密		岩相は上位に似るが，非常に密である。 DM級，礫混り土に区分。		5.45 6.15	15	16	17	48／30	48							
7	245.86	2.00	7.00								6.45 7.15	17	17	18	52／30	52							3/22
	244.86	1.00	8.00		強風化花崗岩	茶褐	極密		層相は上位に似るが，非常に密である。 DH級，軟岩Ⅱに区分。		7.45 8.00	50／6			50／6	250							
8											8.06 9.00	50／4			50／4	375							
9					風化花崗岩	褐灰	極密		軟質土柱状コアで採取される。 コア肌粗く，指圧もしくはハンマー軽打で容易に圧砕される。 DH級主体で一部CL級，軟岩Ⅰに区分。		9.01 10.00	50／3			50／3	500							
10	242.86	2.00	10.00								10.03												3/23